

自然体験はオマケじゃない

子どもの自然体験は大切だと言いながら総論のみで終り、実践になると及び腰になる傾向が見られます。最近、大脳生理学の分野で脳科学の研究が進み、いろいろなことが解明されるようになりました。「心即ち脳のはたらき」というのもその一つです。豊かな感性、節度ある理性を育むために自然教育は、幼児期、幼年期に欠かすことができません。

森林・自然の中で子どもが遊ぶのは、単なるオマケではありません。これによって子どもの五感を刺激して、いい脳に育ちます。これからの「自然教育」、そのあり方を考えるシンポジウムを計画しました。ぜひご参加ください。

5月7日(土) 千葉県立中央博物館

交通は、JR千葉駅の前バス乗場1番、「中央博物館行乗車」 終点「博物館・文化ホール前下車」

《スケジュール》

自然体験教室 10:00~11:00 (博物館正面入口で9:30から受付)

(生態園)房総の自然を再現したフィールド、野鳥観察舎、オリエンテーションハウス

シンポジウム 13:00~16:30 (博物館講堂入口で12:20から受付)

里山と環境教育の意義 大槻幸一郎氏(前千葉県副知事)

里山シンポジウムの意義 中村 俊彦氏(千葉県立中央博物館副館長)

基調講演 「里山はひとづくりの場」筒井 迪夫氏(東京大学名誉教授)

《パネルディスカッション》

テーマ 自然体験はオマケじゃない。

パネリスト
亀井 尊(千葉経済大学附属高等学校教諭)
中村くに子(社会福祉法人 たいよう保育園園長)
浅野 誠(千葉県立精神科医療センター長)
湯上 昇(森林インストラクター)

コーディネーター 上善 峰男(森林文化教育研究会事務局長)

総合司会 鈴木 敦(NPOみどりのネットワーク千葉)

記録・技術担当 岩橋 幹夫(ビスターリクラブ)

オカリナ演奏(開会時)山口 利夫氏、山田 太郎氏

わらべうた(休憩時)なぎさ保育園、たいよう保育園

[問合せ先] 里山シンポジウム実行委員会

教育・学習分科会代表・上善峰男、電話 043-253-7661 携帯 090-2316-8620

自然体験はオマケじゃない

2005年5月7日(土)

進 行 表

観察(生態園) 受付9:30~9:50(中央博物館正面入口)

観察10:00~11:30

シンポジウム 受付12:20~

オカリナ演奏 12:50~13:00(山口 利夫氏他)

挨拶 13:00~13:20

(大槻前千葉県副知事、中村県立中央博物館副館長)

基調講演 13:20~13:50(筒井東大名誉教授)

休憩(舞台模様換) 13:50~14:00

パネル討議(前半) 14:00~15:00

休憩(わらべうた) 15:00~15:20

(なぎさ保育園、たいよう保育園)

パネル討議(後半) 15:20~16:30

終了 16:30